

## 平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東  
 コード番号 3668 URL <http://colopl.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 長谷部 潤 TEL 03(6721)7770  
 定時株主総会開催予定日 平成29年12月22日 配当支払開始予定日 平成29年12月25日  
 有価証券報告書提出予定日 平成29年12月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年9月期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	52,246	△38.3	12,932	△59.4	12,901	△58.7	8,691	△58.0
28年9月期	84,730	—	31,855	—	31,272	—	20,710	—

（注）包括利益 29年9月期 9,165百万円（△55.6%） 28年9月期 20,665百万円（-%）

（注）平成28年9月期より連結財務諸表を作成しているため、平成28年9月期の対前期増減率については記載しておりません。

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年9月期	69.32	67.80	13.2	17.4	24.8
28年9月期	166.92	161.44	39.2	47.5	37.6

（参考）持分法投資損益 29年9月期 -百万円 28年9月期 -百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	75,744	69,293	91.5	551.34
28年9月期	72,301	62,149	86.0	499.07

（参考）自己資本 29年9月期 69,292百万円 28年9月期 62,148百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年9月期	4,957	△4,545	△2,018	51,409
28年9月期	19,135	△6,501	△2,452	52,556

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00	2,116	10.2	4.0
29年9月期	—	0.00	—	21.00	21.00	2,639	30.3	4.0
30年9月期（予想）	—	0.00	—	12.00	12.00		29.6	

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△4.3	8,000	△38.1	7,400	△42.6	5,100	△41.3	40.58

（注）第2四半期（累計）の連結業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当しませんが、当連結会計年度において、コロプラネクスト4号ファンド投資事業組合を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

29年9月期	127,457,000株	28年9月期	126,305,000株
29年9月期	1,777,109株	28年9月期	1,776,214株
29年9月期	125,380,146株	28年9月期	124,073,520株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年9月期の個別業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	50,692	△39.7	14,766	△56.1	14,629	△55.7	8,634	△61.5
28年9月期	84,009	16.0	33,634	4.1	33,042	2.1	22,400	15.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期	68.86	67.35
28年9月期	180.54	174.61

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	77,547	71,471	92.2	568.67
28年9月期	74,416	64,384	86.5	517.02

(参考) 自己資本 29年9月期 71,470百万円 28年9月期 64,383百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(追加情報) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の政権交代による世界経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動等の影響により先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの業界におきましては、株式会社矢野経済研究所の「スマホゲーム市場に関する調査(2016年)」によると、国内スマートフォンゲーム市場は平成29年度には前年度比101.6%の9,600億円に達し、安定成長を続けることが予想されております。また、The Goldman Sachs Group, Inc.の調査によると、VR(仮想現実: VirtualReality)のハードウェア及びソフトウェアの世界市場規模は、平成37年までに590億ドルに達すると予測されております。

当社グループにおきましては、スマートフォン向けの既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新規ゲームについてはその投入に向けて注力してまいりました。また、VRを具現化するHMD端末(頭部装着型表示端末)向けサービスへの注力も進めており、様々な開発実験を行ってまいりました。

売上の多くを占めるオンライン型ゲームアプリでは、当連結会計年度において、海外向けに「ドラゴンプロジェクト」「東京カジノプロジェクト」、国内向けに「プロ野球バーサス」「PaniPani-パラレルニクスパンドラナイト」の配信を開始いたしました。また、「クイズRPG魔法使いと黒猫のウィズ」や「白猫プロジェクト」といった既存ゲームに関しましては、TVCMやオンライン動画プラットフォームにおけるプロモーション、コラボカフェ等のリアルイベントを実施することでユーザのエンゲージメントを高めるサービス運用をしてまいりました。

HMD端末向けサービスでは、PlayStation VR向けに「Fly to KUMA」「STEEL COMBAT」「VR Tennis Online」、Oculus Rift向けに「Dig 4 Destruction」「Fly to KUMA MAKER」「COLOPL VR GARAGE」「TITAN SLAYER」、HTC Vive向けに「TITAN SLAYER」の配信を開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は52,246百万円(前連結会計年度比38.3%減)、営業利益は12,932百万円(同59.4%減)、経常利益は12,901百万円(同58.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は8,691百万円(同58.0%減)となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントはモバイルゲームサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は62,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ569百万円増加いたしました。これは主に、その他に含まれる未収消費税や未収法人税等が増加したことによるものであります。

また、固定資産は13,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,873百万円増加いたしました。これは主に、出資に伴い投資その他の資産が増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は75,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,443百万円増加いたしました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は5,923百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,805百万円減少いたしました。これは主に、法人税等の支払に伴い未払法人税等が減少したことによるものであります。

また、固定負債は528百万円となり、前連結会計年度末比104百万円増加いたしました。これは主に、資産除去債務が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は6,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,700百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、69,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,143百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,147百万円減少し、51,409百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は4,957百万円となりました。主な収入要因は税金等調整前当期純利益12,551百万円であり、主な支出要因は法人税等の支払額8,571百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は4,545百万円となりました。主な支出要因は投資有価証券の取得による支出3,218百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は2,018百万円となりました。主な支出要因は配当金の支払額2,112百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年9月期	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
自己資本比率 (%)	57.2	63.1	73.6	86.0	91.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	1,798.3	927.8	397.6	269.5	215.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率 (%) : 自己資本／総資産  
 時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額／総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) : 有利子負債／キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 平成25年9月期から平成27年9月期の各指標は、連結子会社が存在しないため個別ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

次期の業績予想につきましては、新作ゲームの売上寄与を見込んでいるものの、既存ゲームの売上減少に伴い減収減益を予想しております。一方で、引き続き既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新作ゲームについては年間に複数本数提供してゆくことで、業界内におけるアドバンテージを維持してまいります。また、スマートフォンゲーム市場は引き続き拡大してゆくと考えていますが、これまでにない画期的なユーザ体験をもたらすVR（仮想現実）市場の拡大も見据え、市場の成長が当社の成長となるよう準備を進めております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際財務報告基準(IFRS)の適用時期等につきまして、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,556	51,409
売掛金	7,600	6,589
商品	112	170
仕掛品	154	207
貯蔵品	3	3
前払金	360	268
前払費用	484	615
繰延税金資産	450	24
その他	87	3,059
貸倒引当金	△52	△21
流動資産合計	61,757	62,327
固定資産		
有形固定資産		
建物	798	1,878
減価償却累計額	△188	△306
建物（純額）	609	1,572
工具、器具及び備品	403	491
減価償却累計額	△255	△286
工具、器具及び備品（純額）	148	204
土地	148	149
建設仮勘定	472	3
有形固定資産合計	1,378	1,929
無形固定資産		
のれん	1,968	890
ソフトウェア	74	52
その他	0	-
無形固定資産合計	2,043	942
投資その他の資産		
投資有価証券	3,878	7,018
関係会社株式	1,055	866
関係会社出資金	184	820
敷金及び保証金	1,441	1,508
繰延税金資産	558	327
その他	3	3
投資その他の資産合計	7,121	10,545
固定資産合計	10,543	13,417
資産合計	72,301	75,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43	29
未払金	4,559	4,473
未払費用	161	219
未払法人税等	3,776	45
未払消費税等	260	48
前受金	862	979
預り金	52	111
その他	11	15
流動負債合計	9,728	5,923
固定負債		
資産除去債務	416	519
その他	6	8
固定負債合計	423	528
負債合計	10,152	6,451
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,384	6,433
資本剰余金	6,143	6,192
利益剰余金	54,261	60,835
自己株式	△4,642	△4,643
株主資本合計	62,147	68,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	475
その他の包括利益累計額合計	0	475
新株予約権	0	0
純資産合計	62,149	69,293
負債純資産合計	72,301	75,744



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	84,730	52,246
売上原価	37,442	28,449
売上総利益	47,288	23,796
販売費及び一般管理費	15,432	10,864
営業利益	31,855	12,932
営業外収益		
受取利息	14	12
有価証券利息	13	19
為替差益	-	433
雑収入	6	73
営業外収益合計	34	538
営業外費用		
為替差損	596	-
投資有価証券評価損	-	516
雑損失	20	52
営業外費用合計	616	568
経常利益	31,272	12,901
特別損失		
関係会社株式評価損	511	349
特別損失合計	511	349
税金等調整前当期純利益	30,761	12,551
法人税、住民税及び事業税	9,961	3,411
法人税等調整額	135	449
法人税等合計	10,096	3,860
当期純利益	20,664	8,691
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△45	-
親会社株主に帰属する当期純利益	20,710	8,691

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
当期純利益	20,664	8,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	474
その他の包括利益合計	0	474
包括利益	20,665	9,165
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	20,711	9,165
非支配株主に係る包括利益	△45	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,328	6,325	35,631	△5,000	43,285
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	56	56			112
剰余金の配当			△1,967		△1,967
自己株式の取得				△0	△0
株式交換による変動額		△113		358	244
連結子会社の自己株式の取得による持分の増減		△0			△0
連結子会社株式の取得による持分の増減		△237			△237
自己株式処分差損の振替		113	△113		-
親会社株主に帰属する当期純利益			20,710		20,710
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	56	△181	18,629	357	18,862
当期末残高	6,384	6,143	54,261	△4,642	62,147

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△0	△0	0	43,286
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				112
剰余金の配当				△1,967
自己株式の取得				△0
株式交換による変動額				244
連結子会社の自己株式の取得による持分の増減				△0
連結子会社株式の取得による持分の増減				△237
自己株式処分差損の振替				-
親会社株主に帰属する当期純利益				20,710
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	0	△0	0
当期変動額合計	0	0	△0	18,862
当期末残高	0	0	0	62,149

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,384	6,143	54,261	△4,642	62,147
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	48	48			96
剰余金の配当			△2,116		△2,116
自己株式の取得				△1	△1
親会社株主に帰属する当期 純利益			8,691		8,691
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)					
当期変動額合計	48	48	6,574	△1	6,669
当期末残高	6,433	6,192	60,835	△4,643	68,816

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	0	0	0	62,149
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				96
剰余金の配当				△2,116
自己株式の取得				△1
親会社株主に帰属する当期 純利益				8,691
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	474	474	△0	474
当期変動額合計	474	474	△0	7,143
当期末残高	475	475	0	69,293

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	30,761	12,551
減価償却費	216	204
のれん償却額	565	1,077
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	39	△31
為替差損益 (△は益)	565	△462
関係会社株式評価損	511	349
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	516
売上債権の増減額 (△は増加)	2,791	1,010
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△255	△111
仕入債務の増減額 (△は減少)	33	△14
未払金の増減額 (△は減少)	△329	△58
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,360	△211
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	116	△88
前受金の増減額 (△は減少)	△92	117
前払費用の増減額 (△は増加)	△346	△130
その他	11	△1,210
小計	33,226	13,509
利息及び配当金の受取額	12	19
利息の支払額	△4	-
法人税等の支払額	△14,098	△8,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,135	4,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△538	△684
無形固定資産の取得による支出	△18	△1
投資有価証券の取得による支出	△3,622	△3,218
投資有価証券の売却による収入	300	261
関係会社株式の取得による支出	△771	△160
関係会社出資金の払込による支出	-	△675
新規連結子会社株式取得による支出	△1,599	-
敷金及び保証金の差入による支出	△259	△287
敷金及び保証金の回収による収入	7	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,501	△4,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△308	-
長期借入金の返済による支出	△279	-
株式の発行による収入	112	96
配当金の支払額	△1,962	△2,112
非支配株主への配当金の支払額	△0	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△13	-
その他	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,452	△2,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△565	459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,616	△1,147
現金及び現金同等物の期首残高	42,638	52,556
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	301	-
現金及び現金同等物の期末残高	52,556	51,409

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報)

当社グループにおける報告セグメントはモバイルゲームサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり純資産額	499.07円	551.34円
1株当たり当期純利益金額	166.92円	69.32円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	161.44円	67.80円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	62,149	69,293
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	0	0
(うち新株予約権(百万円))	(0)	(0)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	62,148	69,292
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	124,528,786	125,679,891

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	20,710	8,691
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	20,710	8,691
期中平均株式数(株)	124,073,520	125,380,146
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	4,211,838	2,813,818
(うち新株予約権(株))	(4,211,838)	(2,813,818)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	平成25年12月20日取締役会決議 第6回新株予約権 (新株予約権の数 7,833個)	平成25年12月20日取締役会決議 第6回新株予約権 (新株予約権の数 7,163個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。